



(写) 鈴木幸一郎

2012 U20 日本F I D代表合宿報告

今、ニッポンには
この夢の力が必要だ。



MESSAGE



【報告者】小澤 通晴（日本知的障がい者サッカー連盟 技術委員長）

1. 開催の目的

- ・2014年のINAS-FIDブラジル大会に向けてU20年代の強化と育成
- ・地域の指導者の方とINAS-FID日本代表のコンセプト、トレーニングを共有する。

2. 合宿のコンセプト

- ・日本F I D代表のスタンダードを知る。（求められているもの）
- ・やるべきことを理解し、実践する。
- ・共通の高い目標を持った仲間づくりをする。

3. 期日・場所

平成24年12月22日（土）～平成24年12月26日（水）4泊5日
茨城県神栖市 「オーシャンフィールド」

4. トレーニングのテーマ（内容については別紙参照）

- ・コーディネーション
- ・パス&コントロール⇒ポゼッション
- ・守備 チャレンジ&カバー
- ・ヘディング ・スライディング ・コミュニケーション

2012 U20 日本FID代表候補合宿 波崎

	12月22日	土	12月23日	日	12月24日	月	12月25日	火	12月26日	水
6:20-7:00 朝練	/		ランニング15分 コーディネーション15分 体幹5分 古谷C	ランニング15分 コーディネーション15分 体幹5分 池田C	ランニング15分 コーディネーション15分 体幹5分 池田C	ランニング15分 コーディネーション15分 体幹5分 池田C	ランニング15分 コーディネーション15分 体幹5分 池田C	ランニング15分 コーディネーション15分 体幹5分 池田C	ランニング15分 コーディネーション15分 体幹5分 池田C	
9:00-11:30 トレーニング			攻撃 パス&コントロール	守備 ボールを奪う チャレンジ&カバー	守備 チャレンジ&カバー	攻撃 ボールを失わない ポゼッション	攻撃 ボールを失わない ポゼッション	攻撃 ボールを失わない ポゼッション	攻撃 ボールを失わない ポゼッション	攻撃 ボールを失わない ポゼッション
14:00-16:30 トレーニング	アイスブレイク 古谷C コーディネーション古谷C パス&コントロール ゲーム	トレーニングマッチ 市立 千葉高校 30×3	攻撃 ゴールを目指す ポゼッション	攻撃 ゴールを目指す ポゼッション	攻撃 ゴールを目指す ポゼッション	攻撃 ゴールを目指す ポゼッション	攻撃 ゴールを目指す ポゼッション	攻撃 ゴールを目指す ポゼッション	攻撃 ゴールを目指す ポゼッション	
19:00-20:00 ミーティング	日本代表のスタンダード 小澤C	ロジカルコミュニケーション 古谷C	攻守の原則 西C	攻守の原則 西C	攻守の原則 西C	攻守の原則 西C	合宿反省・感想文作成	合宿反省・感想文作成	合宿反省・感想文作成	

5. メンバー、スタッフ

GK	加藤 隆生	秋田県	23
GK	松本 祐一	東京都	31
GK	山本 正勝	三重県	18
DF	櫻井 高比都	茨城県	22
DF	木村 和磨	東京都	17
DF	結城 隆	東京都	17
DF	木下 翔太	千葉県	16
DF	高橋 正英	北海道	14
DF	宮川 凌	北海道	18
DF	小林 佑平	神奈川県	14
MF	浦川 優樹	東京都	22
MF	徳丸 舜	熊本県	18
MF	金井 慧弥	岐阜県	18
MF	新野 修次	三重県	18
MF	海野 大輔	福岡県	16
MF	永井 伸太郎	鹿児島県	19
FW	森山 憂多	東京都	18
FW	外崎 蒼紫	神奈川県	17

役職	氏名	所属都道府県	参加日
チーフ	小澤 通晴	東京都	全日程
コーチ	古谷 秀樹	東京都	全日程
コーチ	池田 透	岐阜県	全日程
GK コーチ	柳沢 繁	東京都	12/22.23.24.25
コーチ	西 慎一	鹿児島県	12/24.25.26
コーチ兼AT	木村 純一	東京都	12/24.25.26
庶務	鈴木 幸一郎	事務局	12/22.
庶務	利根川 俊介	事務局	12/23.24
庶務	天野 直紀	事務局	12/25.26

6. 成果と課題

今回の合宿では攻撃のトレーニングを多くした。パス&コントロールはディリーでかなりの時間をかけておこなった。キックの精度（マーカーの真ん中にあわせる）、パススピードを上げる、ボールを受ける側はチェックの動き、動き出しのタイミング、ボールコントロール（ボールを迎えに行く、インサイドキックをするようにボールを押し出す）、コントロールしてからキック



(写)鈴木幸一郎

までを早くおこなう（トン・トンのリズム）、ミスをした後のリカバー（早くボールを抑える）など少しずつ意識することを増やして、コーチングとティーチングをおこなった。

また、DFを入れたパス&コンでは相手の状況を観ること、選択肢を持ち、判断を変えることなど実際のゲームに近いトレーニングをおこなった。ボールを受けた人に関わるタイミングや突破のアイデア（クロスオーバー、ワンタッチプレーなど）を求めた。

ディリーでパス&コンをおこなうことで、キックの精度や動き出しのタイミング、ボールを持っていないときの準備など改善が見られた。コーチがいっしょに入的过程中で突破のアイデアなど模倣から学び、実践できるようになった。代表でも課題であるアタッキングサードの崩しという部分につながるころなので、各地域でもパス&コンの発展系としておこなってもらいたい。

ポジション（ゴールを目指す、ボールを失わない）のトレーニングでは一対一でボールをキープする（身体の使い方、ボールの置き処）、エリアの確保することをおこなった。4対1や3対1では技術や意識に差があったので、グループを分けて取り組んだ。ボールを足元に置かない（全員の顔を見る、ファーストタッチ）、パスコースを作る（サポートの位置、攻撃方向を意識する）、パスの精度と強さなどについて指導した。

高いレベルのグループでは、スペースへのパスも選択肢の一つということも理解し、ボールをスペースに出し全員がかかわり続けることができるようになってきた。他のグループもオフの準備など意識しながら、プレーし続けることができつつある。

課題としては小さなエリアから5vs5などの大きなエリアになったときに、ボールを持っていない選手のかかわりや準備が悪いということが上げられる。3vs1や4vs2のなかでしっかりとサポートの意識をつけ、ボールを失わないという基礎力をつけていく必要がある。その上でゲームを意識したポジションへとつなげていきたい。

守備ではチャレンジ&カバーにフォーカスしてトレーニングを行った。「相手のボールを奪う」という本質を追究し、フィジカルコンタクトやバトルの中からボールを奪う技術と気持ちの強さを要求した。トレーニングの中ではポジショニング、1stDFの徹底、相手に簡単に前を向かせないこと、最後まであきらめない粘り強い守備を指導した。しかし、コーチのミーティングでは1stDFのアプローチや球際の強さなどボールを奪うという本質の部分にまだ甘さがあることが反省として出された。チャレンジとカバーという約束どおりの動きではなく、ボールを奪い取るというところにもっと働きかけなければならない。

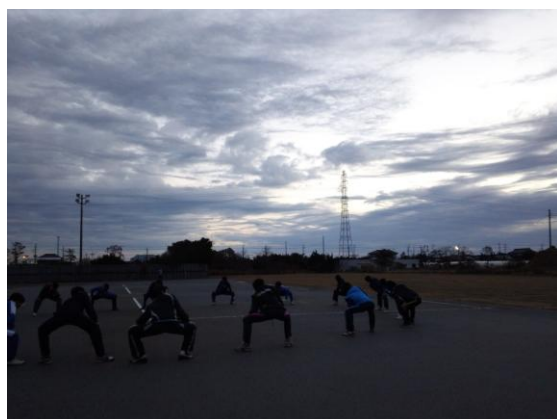


(写) 鈴木幸一郎

8. 総括

今回はU20の合宿ではあったが、世界大会での経験等を伝えてもらうために数名の代表経験者を招集した。若い選手たちにピッチ上でのレベルの高いプレー、ミーティングや宿舎での生活で世界の標準を伝えてもらうことができた。

トレーニングは朝のトレーニング40分、午前2時間半、午後2時間半というハードなトレーニングをおこなった。世界大会では90分のゲームを中二日で6試合闘わなければならないことを考えると当然の内容であることを選手たちに伝えた。以前は初日で数名のけが人が出たが、今回は1名



がリタイアしたのみであった。自チームでのトレーニングと合宿への準備など良くなるようになって来た。トレーニング内容としてはコーディネーション、体幹トレーニング、パス&コントロール、ゲームは各トレーニング時に必ずおこなった。コーディネーションと体幹については短期間でもかなりの成果が見られたので、是非各地域でも取り組んでもらいたい。パス&コントロールについてはスピードよりもまず精度から高めていってほしい。

指導スタッフは九州F I Dトレセンチーフの西氏や東海F I D指導者講習会に参加した岐阜県の池田氏に参加を要請した。指導力と選手としての実力を兼ね備えた指導者であり、従来の代表スタッフも良い緊張感を持ってトレーニングをおこなうことができた。選手たちに良いデモンストレーションを見せてもらい、闘う気持ちも示してもらった。

最後にこの合宿から来年の5月におこなわれる

INAS-FID 日本代表候補合宿に多くの選手が招集されることを望んでいる。そのためには今回の経験を「きっかけ」として自チーム、各地域でのトレーニングに高い意識を持って取り組んでもらいたい。

2014INAS-FID ブラジル大会まではあと1年8ヶ月しかない。日本が世界で闘う為には選手たちがどういう目標を設定し、努力し続けるかにかかっている。我々指導者は彼らを導き、後押しをすることが使命である。日本の知的障がい者サッカーのために心をひとつにして、頑張りましょう。選手を送っていただいた地元の指導者の方々に感謝いたします。ありがとうございました。



(写)鈴木幸一郎